

第2次選考試験（中学校美術科）の実施について

試験①：自画像絵画制作の内容について

1. 八つ切り厚口ケント紙に鉛筆と水彩絵の具を用いて写実的に描く。
2. 制作時間は3時間30分とする。
3. 主題等については当日指示する。
4. 制作に関わる持ち物

<制作に必要なもの>

- ・スケッチにふさわしい鉛筆、小刀(鉛筆削り用)、使用済み封筒(ゴミ入れ)、消しゴム、水彩絵の具用具一式(水彩絵の具、筆、パレット、筆洗、雑巾等)、手鏡

<作品票作成に必要なもの>

- ・筆記用具、はさみ、糊

試験②：模擬授業の内容について

1. 以下の題材で模擬授業をする。

(1)教科 :美術科

(2)題材名 :第1学年 文字のデザイン

(3)デザイン・工芸

(4)授業概要:指定した題材をもとに授業構想を試験当日までに立案し、授業の導入を行う。

- 2 持ち物 (以下のものについて、必要であれば持参してもよい。)

- ・ 1(4)の立案メモ
- ・ 文字のデザイン(既製品)3点以内 ※自作のものは不可

- 3 実施方法について

(1)模擬授業前に授業準備の時間を10分間設ける。授業準備の部屋には次のものがあり、自由に使用してよい。四つ切り画用紙×2、八つ切り画用紙×2、A4用紙×5、マーカー(黒、赤、青)、教科書(開隆1、光村1、日文1)。ただし、教科書の加工は不可とする。

(2)入室からの約7分間で、受験者が模擬授業を行う(7分以内)。

(3)模擬授業では、準備時間に作った資料や準備した商品を資料として利用したり、板書をしたりしながら授業を行っても構わない。

(4)試験委員を生徒と想定して模擬授業を行うが、試験委員とのやり取りは一切できない。

(5)持ち込み可能なものは、準備の時間に作成したもの、商品、立案メモ、教科書。

(6)7分以内で模擬授業を行った後、試験委員が、模擬授業について質問をする。

(7)受験者はその質問に簡潔に答える。